

## 令和4年度第3回ワーキンググループ 議事概要

### 1. 日 時

令和4年9月8日（木） 15：30～16：45

### 2. 場 所

会議室3-1、3-2

### 3. 参加者

企画財政課（事務局）	3名	まちづくり振興課	1名
税務課	1名	子育て・健康支援課	1名
産業課	2名	学校教育課	1名

### 4. 内 容

#### ○議題

- (1) 政策ターゲット及び具体的な人物像（素案）の検討
- (2) ワーキンググループ中間報告（素案）の検討

#### ○議事概要

- (1) 政策ターゲット及び具体的な人物像（素案）の検討

事務局        本日は前回皆さんにいただいた人口減少対策を行ううえでのターゲットに関するご意見や各種統計等を参考に、政策ターゲットと具体的な人物像（ペルソナ）の素案を作成しておりますので、それをもとに議論をしていきたいと思います。

「人口減少対策の政策ターゲット及び具体的な人物像（素案）」をご覧ください。ここでは政策ターゲットとペルソナの素案を8つ作成しております。この素案を叩き台に、どの政策ターゲットの優先度を高くすべきか、もっと良い政策ターゲットや方向性がないか等、ご意見をいただければと思います。

【意見要旨】

項目	参加者意見	事務局
政策ターゲット	○政策ターゲット No.1「就職予定の高校3年生」は企業誘致から必要になるので時間がかかりすぎるのではないか。	■No.1 は町内の就職先が少ない現状において、町出身者が近隣市町村で就職する際に、住まいを町内に構えてもらえるようにという趣旨。
	○No.1 に比べNo.8の「起業を検討している方」への支援は取り組みやすいのではと思う。	■いずれの政策ターゲットの場合も、短期的な効果を狙う施策と長期的に取り組むべき施策を整理したい。
	○どこの自治体も力を入れている層だが、No.3(新婚世帯)やNo.4(マイホーム検討中の世帯)への施策を重点的に行うべきかと思う。 ○No.4については、家を購入した場合、賃貸住宅とは異なり長期的な定住が見込めると思う。 ○既に他市町村が取り組んでいる施策については、少なくとも同じことを実施することで、ようやくスタートラインに立てる。その上でどのように独自色を出すかが大切だ。	■スタートラインに立つという表現はまさにその通りで、各自治体で人口減少対策が活発化する中、現状維持のままでは相対的には後退していると言ってよいと考える。
	○No.5の「理想の人数の子どもを持ちたい夫婦」について、例えば病後児保育など、実施はしているが、利用者のニーズと合わず、ほとんど利用されていないような施策がある。いわゆる出産祝い金などは簡単に取り組めると思うが、それ以上に既存施策の質の向上や支援体制の充実が必要なのではないかと思う。 ○新規施策の実施や既存施策の改善を検討する際には、その担当課にヒアリングするなどしてはどうか。	■新規施策の詳細は中間報告で政策ターゲットが確定した後には検討したいと考えている。その際には既存事業との兼ね合いや、過去に取り組んだが効果が不十分のまま終わった事業など、各担当課が把握している情報を収集・整理しながら事業の検討を進めたい。

項目	参加者意見	事務局
優先度等	○ワーキンググループの考える優先度と対策本部会議構成員の考える優先度が異なるかもしれない。	■意見を踏まえ「人口減少対策の政策ターゲット及び具体的な人物像(素案)」を修正する。なお、「財政負担」は実施する事業が定まっていないため、整理対象からは外すこととしたい。
	○優先度については人員や予算を差配する権限のある対策本部会議構成員で議論をお願いできないか。	
	○例えば、事務局の方で政策ターゲットごとに「重要度」、「困難度」、「財政負担の重さ」等を整理し、それを基に優先度を議論してはどうか。	■意見を踏まえ「人口減少対策の政策ターゲット及び具体的な人物像(素案)」を修正する。なお、議論の参考となるよう、各種統計資料や意識調査結果等を別途用意したい。
	○中間報告は政策ターゲットを決定することがゴールかと思うが、政策ターゲット毎に施策の例を示すと、議論が不十分なまま、例示した施策の実施に繋がる可能性がある。真に効果的な施策を十分検討するためにも、中間報告時点では施策例は外した方がよいのでは。	
○新規施策を実施する場合、施策規模が大きく実施に困難を伴うが重要なもの、等と区分し、比較的取り組みやすい施策から始めてはどうか。	■意見を踏まえ、各施策に事業区分を設け、短期的な効果を狙う施策と長期的に取り組むべき施策を整理したい。	

## (2) ワーキンググループ中間報告(素案)の検討

事務局 続いて対策本部会議に対して行う中間報告の素案について、ご意見をいただければと思います。中間報告は大きく分けると築上町における人口減少の状況や将来推計等をまとめた「現状の整理」、なぜ人口減少対策が必要か等をまとめた「考え方」、そして政策ターゲットや数値目標の設定といったワーキンググループからの提言をまとめた「方向性」の三部構成としています。

対策本部会議においては、特に最後の「方向性」について議論をしていたく予定にしております。中間報告は政策ターゲットを設定してはどうかという意見と、そのターゲットの案をまとめたものに過ぎませんが、対策本部会議で「方向性」が承認されれば、その後ワーキンググループでより具体的な施策を検討できればと考えています。

本日はこの中間報告の素案を見ていただいて、何か気になる点はないか、付け加えるべき情報はないか、等の中間報告自体の内容に関することと、この中間報告を受けて対策本部会議で議論を行っていただく際の論点についてご意見をいただきたいと思います。なお、事務局の方で論点については整理を進めているところですが、現在のところ①政策ターゲット関係、②数値目標関係、③実施体制関係の三点を用意しております。その他の論点や、特に議論を深めてほしい論点がありましたらご意見をいただきたいと思います。

参加者 今回、広島県福山市の事例を参考にペルソナの設定を行っていますが、福山市の事例の概要が分かる資料を用意した方が良いと思います。

事務局 中間報告を行う際、参考に福山市又は DataStaRt のホームページから適当な資料を用意して配布するようにします。

参加者 新規事業を行うためには、予算や人員の問題を解決しないといけないのではないかと思います。是非論点に加えてもらいたいです。

事務局 中間報告後に議論するための論点の中に、「行財政改革が必須」である旨を記載する予定にしています。

参加者 先ほどの議題の中でも話題になりましたが、他自治体が人口減対策に取り組んでいる中、築上町でも人口減少対策に関する取り組みを本格化させ、それを継続しなくてはなりません。たとえ特定財源がなくても、必要な取り組みであれば推進していくという町の意味を示すべきです。そのためにも、ワーキンググループとしては行財政改革が「大前提」だと考える、と対策本部会議構成員に対して表明してほしいと思います。

参加者 特定財源として国や県の補助があるかもしれませんが、得てしてそのような補助事業には制約が多く、実施したものの思い描いていた効果が得られなかった、というような経験があります。

事務局 中間報告後に論点整理を行う際、人員や予算のメリハリを付けることの必要性を、事務局から強調したいと思います。

## 5. 次回予定

令和4年10月中旬以降